（別添資料1）

事業所名	みらいくらぶ	支援プログラム（参考様式）	作成日	令和7 年 3 月 30 日

法人（事業所）理念		理念　子どもたちの中で無限の可能性を育てます　子どもたちの生きる力を育てます　子どもたちの五感に刺激を与えて興味を持つ力を育てます （地域社会の中で自己決定出来る力を持ち、人格の尊重できる社会を目指します）				
支援方針		(1)事務所は障がい児が日常生活における基本動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、事務所において適切かつ効果的な指導訓練を行うものとする。(2)児童発達支援の実施・放課後等デイサービスの実施に当たっては地域との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村等との密接な連携に努めるものとする。(3)児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準に定める内容のほか、関係法令等遵守し、指定児童発達支援・指定放課後等デイサービスを実施するものとする。				
営業時間		11 時 0 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無	●あり　なし	
		支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	○日常生活動作：着替え、食事、排泄等、身辺自立ができるように練習を行います。また、生活リズムが整えれるように支援していきます ○社会生活動作：買い物や交通ルール、公共施設のルールを学びます ○情緒の安定：本人や家族の意思を尊重しながら、感情のコントロールや気持ちを落ち着ける方法を一緒に考えたり、助言しながら支援します				
	運動・感覚	○体づくり、姿勢保持：ボルダリング等を活用しながら協調運動を行います。また、プログラムや集団生活の中で姿勢に気をつけれるように促していきます ○感覚統合あそび：ジャンプ運動や工作等を通して運動機能の発達や感覚を養っていきます ○リズムあそび：音楽にあわせて指示行動をしたり、ダンス等のプログラムで音楽にふれ、リズム感覚を養います				
	認知・行動	○ワーキングメモリ：視覚模倣を行いながら視覚的情報保持と処理能力を高めていきます。また、短期記憶の強化をはかります ○数の課題：計算や数の学習をとりいれながら認知の成長を促します ○大小・色等の認知：あそびや工作、パズル等を行いながら学習する機会をつくります ○スケジュールの支援：ホワイトボードに予定の記入や事前の声かけで見通しができるように支援します				
	言語 コミュニケーション	○異年齢児との関わり：様々な年齢の児童との活動を通して交流する ○言語課題：絵カード等を用いて、発語や意思表示が苦手な児童への支援を行います ○学習支援：文字の読み書き等を本児にあわせながらプリントやフラッシュカードを用いながら支援します				
	人間関係 社会性	○ソーシャルスキルトレーニング：集団生活の中で適切な行動や、相手の立場を理解しながらコミュニケーションをとる方法を学びます ○自己表現：自分の意見や希望を相手に伝える方法を練習し、対立を避けながら意見を主張する力を身に付けれるように支援します ○課題解決：日常生活や園、学校等で直面する困難に対して、他者と協力して解決策をみつけるためのスキルを身に付ける支援を行います ○共同作業：お友だちと行う製作活動やルールのあるあそびを通じ、社会性と協調性を養います				
家族支援		・サービス提供記録や送迎時に利用中の様子をお伝えしたり、お子さんの状態について共有する ・家庭での困り事や悩み事について話を聴いたり助言する ・保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を提供 ・毎月ペアレントトレーニングの配信		移行支援	・園や学校の併行利用や進級、進学時に子どもの様子等を情報共有を行う	
地域支援・地域連携		・外出支援（公園等）　・地域イベント ・図書館等の地域資源の活用 ・地域スーパー等へのお買い物		職員の質の向上	・動画やZoomを使っての外部研修 ・社内研修 ・法人のミーティングを月に1回実施	
主な行事等		・月ごとの行事　・夏祭り　・ハロウィンパーティー　・クリスマス会 ・避難訓練（奇数月）　・保護者参観　・保護者会				